

こたまたゆらじ
谷雄二

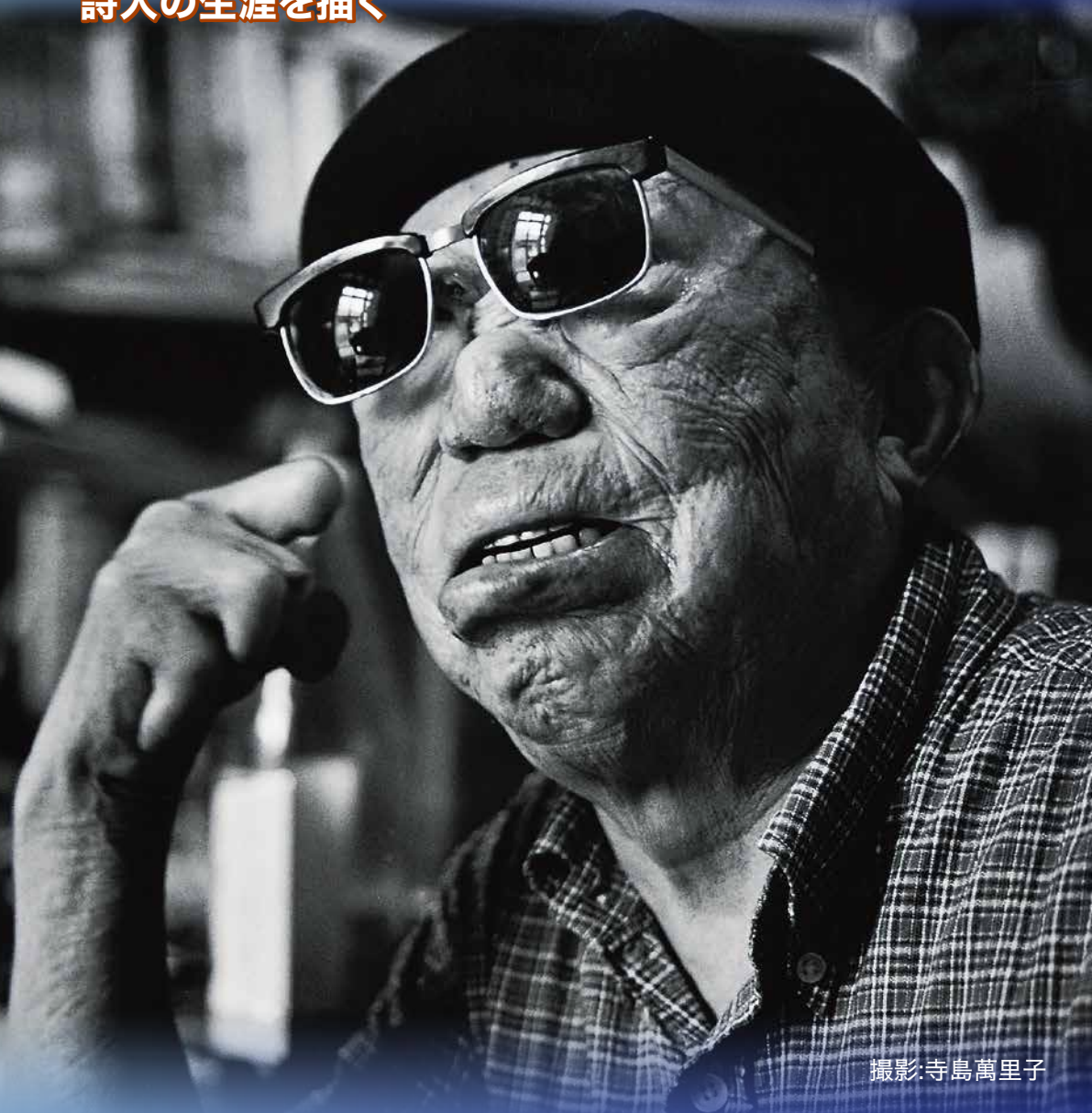
病むならば
豪壮に病もう。根かぎり
生命の火をかきたて
その火で苦痛を燃やせ。
めそめそなんかはしないぞ。哭き叫ぶ苦痛の火柱を創造れ。
.....

病むならば
豪壮に病もう。もうぜったいに
くよくよなんかはしないぞ。

「詩集・鬼の顔：病むならば」

**ハンセン病の強制隔離政策に抗い人権回復を訴え続け、
ハンセン病差別撤廃運動の先導者として生きた
詩人の生涯を描く**

熊笹の尾根の生涯



撮影：寺島萬里子

中学・高校での人権教育・差別問題の教材としても最適です

企画 国立療養所栗生楽泉園入所者自治会

制作 岩波映像株式会社



上映時間 43 分

一般販売価格◎¥15,000+税 ライブラリー価格◎30,000 円+税



本作は、国のハンセン病隔離政策の誤りを指摘し、今なお私たちの日本社会に根強く残るハンセン病の元患者らに対する偏見・差別と闘い続けてきた弐雄二さんの生涯を描いたものです。弐さんは、隔離政策によって奪われた元患者の名誉と基本的人権の回復を強く訴えた活動家であった反面、人を愛し、文学に勤しみ、詩作を通じて人々の心に響く作品を残した優しい人でした。

未来を担う若い人たちにはハンセン病差別だけでなくあらゆる差別をなくし、人権を守る努力をして欲しいと強く思います。本作は、そのことを考えるための重要なメッセージを皆さんに投げかけています。若い皆さんに是非観て欲しいビデオです。

国立療養所栗生楽泉園入所者自治会長・藤田三四郎



療友たちと

左から鈴木時次さん、弐雄二さん、鈴木幸次さん、藤田三四郎さん、浅井あいさん、田尻千代さん。

2001年 撮影・寺島萬里子



弐 雄二 (こだま ゆうじ)

詩人。1932年東京都生まれ。39年にハンセン病を発症し、国立療養所多磨全生園に入所。51年には国立療養所栗生楽泉園に転園。62年に詩集『鬼の顔』(昭森社)を出版。その後も詩集『ライは長い旅だから』(詩・弐雄二/写真・趙根在 皓星社)や自叙伝『わすれられた命の詩』など数々の作品を発表するとともに、99年に原告として東京地裁に「らい予防法人権侵害謝罪・国家賠償請求訴訟」を提訴するなど、ハンセン病回復者の名誉回復に力を尽くす。2014年5月11日没。



『彼には詩があったから運動家としても筋を通してやってこられたと思うのです。詩があったからというのは、詩の根底に流れている彼なりの思想があったから筋を通して運動もやって来られた。その意味での弐雄二の強さというのは、文学あるいは思想を背景にした強さでもあったと思います。

だから運動家としての、理論家としての弐雄二と言うのは確かにここにいても、それは単なる入口で、その運動家の背後には詩を書く弐雄二、文学をする弐雄二、思想する弐雄二がいた。』

作家 姜 信子

姜 信子 (きょう のぶこ)

作家。1961年横浜生まれ。東京大学法学部卒業。86年に『ごく普通の在日韓国人』でノンフィクション朝日ジャーナル賞を受賞。著書に『生きとし生ける空白の物語』(港の人)『声 千年先までに届くほどに』(ぶねうま舎)『平成山椒太夫』(せりか書房)『ノレ・ノスタルギーヤ』『イリオモテ』(いづれも岩波書店)、『今日、私は出発する ハンセン病と結び合う旅・異郷の生』(解放出版)など。

弐雄二の最後の詩文集となった『死ぬふりだけでやめとけや』(みすず書房)の編集者。本作では、作家の視点からみた弐の姿を語る。



【出演】 国立療養所栗生楽泉園入所者、職員、元職員の皆さん 姜 信子 朗読:杉本凌二 ナレーター:坪内 守 聞き手:北原 誠

【スタッフ】 構成 演出:大塚正之 撮影:清水良雄・須藤恵司 撮影技術:上原 茂・奥井義哉 照明:渡辺耕次 音効:岡田義男 CG:金山泰光 MA:喜多真一・桑原 惇 マスタリング:太田洋一 演出協力:落合智子・大山麻里 野里元士 プロデューサー:宮本直実 写真協力:黒崎 彰・吉幸ゆたか 寺島萬里子 資料提供:朝日新聞・東京新聞・みすず書房・国立公文書館・国立ハンセン病資料館 撮影協力:国立療養所栗生楽泉園・国立療養所多磨全生園・重監房資料館 協力:劇団男魂メンソウル・ドンカンパニー・Brain23・ソニーPCL・9月1日重監房資料館見学の高校生のみなさん

このDVDを、公衆放送(放送、有線、インターネットなど)、有料上映・上演、頒布(販売、貸与など)、翻訳、翻案などに使用することは法律で禁止されています。

一般販売価格◎15,000円+消費税
(個人貸出・館内無料上映可)

ライブラリー価格◎30,000円+消費税
(個人貸出・館内無料上映・団体貸出・館外無償上映可)

DVD発売元:国立療養所栗生楽泉園入所者自治会

デザイン:山岡一馬

配給・販売元

岩波映像株式会社

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-1-13-205
Tel ◎ 03-5689-2601 Fax ◎ 03-5689-2685
<http://www.iw-eizo.co.jp/> Email: iwanami@iw-eizo.co.jp

取扱店